FUJIFILM
Value from Innovation

富士フイルム(株)富士宮事業場 サステナビリティレポート 2020

ご挨拶

2020年11月
富士フイルム(株)
富士宮事業場長
土田秀世

富士フイルム富士宮事業場は世界文化遺産富士山の南西山麓に位置し、清澄な空気、豊富な湧水の恩恵を受けて操業しております。1963 年の創立以来、地域やステークホルダーの方々にはご理解とご支援を賜り、深く感謝しております。

今後も、世の中のさまざまな社会課題解決のため新たな価値創出に取り組み、持続可能な開発目標(SDGs※)などに積極的に貢献していきます。

また、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が流行するいま、事業場内では感染症対策を推進するとともに、感染対策となる抗菌製品を生産しております。

※SDGs ：2015 年に、国連が採択した貧困や不平等、福祉の推進、気候変動への対応など 2030 年までに達成すべき 17 の目標

＊このレポートは、富士フイルム(株)富士宮事業場(関連会社含む)の環境･安全及び地域とのコミュニケーションについて、2019 年度の活動や実績をまとめたものです。対象期間:2019 年 4 月～2020 年 3 月

富士宮事業場の概要

創立	1963 年 10 月 16 日
所在地	〒418-8666 静岡県富士宮市大中里 200 番地
主要生産品目	医療及び工業用 X-レイフィルム、各種機能性フィルム、抗菌材料、写真印画紙用支持体
マネジメントシステム	ISO9001、ISO14001、OHSAS18001 認証取得統合プログラム プレミアム･ステージ(上位認証)
2019 年度概況	生産金額 568 億円、従業員数 1,132 人(関連会社含む、2020 年 3 月末時点)
	事業場敷地面積 358 千 m^2、事業場建物面積 132 千 m^2

環境負荷概要

主要原材料
PET 原料、ゼラチン、硝酸銀など 37,421t

エネルギー

重油･灯油	18,999 kL
購入電力量	735 MWh
天然ガス	42,800 千 Nm^3
水	11,788 千 m^3

主要製品
X-レイフィルム、各種機能性フィルムなど 28,685t

環境成績

大気排出	VOC160t、$CO_2$141,727t、SOx2.6t、NOx100t
排水量	11,614 千 m^3
排水水質	BOD 9t、COD 26t、SS 7.0t、総リン量 0.3t
	一般廃棄物 40t、産業廃棄物 1,980t、有価物率 68%

環境保全活動の概要

大気	各項目とも法令及び富士宮市との公害防止協定の規制値以下でした。
排水	法規制及び公害防止協定より厳しい事業場管理基準値を設け、各項目とも基準値以下でした。
ゼロエミッション	単純焼却･埋立ゼロの「ゼロエミッション」を継続しました(2001 年以降継続中)。
環境モニタリング	定期的な地下水モニタリングにより、土壌や地下水の水質に問題ないことを確認しました。

【特集１】新型コロナウイルス感染予防に対する取り組み

生産･開発業務が中心である私達は、感染リスクから身を守りながら現地･現物で業務遂行する事が基本であり、新型コロナウイルスから従業員･工場･事業を守り抜くため、日々のウイルス対応を行っています。社内外を問わず事業場への入構者に対する感染防止策を推進し、人と人の接触する機会を低減させる等、感染リスクの低減を図り、様々な情報発信やルール作りと遵守を従業員が一丸となって取り組んでいます。

例)手指のこまめな消毒、対面式のデスクレイアウトの回避、
Web 会議活用、ソーシャルディスタンス距離の確保、
デスク周辺への飛沫防止シート等の設置等

また万一、事業場内で感染者が発生した場合に備えて、消毒業者の確保の他、自分たちでも迅速な初期消毒対応ができるように手順書を作成し、安全を確保した訓練も開始しています。

正門での消毒

建屋玄関での消毒

消毒の訓練

【特集2】 抗菌製品の増産

新型コロナウィルスの感染を防ぐには、手を清潔に保ち、なるべくモノに触れないことが鉄則ですが、私たちの身の回りには、手すりやドアノブ、スマートフォン、公共施設のタッチパネル等、手で触れざるを得ないものが多くあります。こうした中、コロナ禍による感染対策ニーズ拡大と、抗菌性能が 24 時間以上続く性能が市場で注目され、2017 年より生産開始した「HydroAg+」技術を用いた抗菌液の需要が前年比で約 20 倍に急増し、現在非常に多くの引き合いを頂いております。

この商品は、医療や介護現場のために開発されたものであり、60%の高濃度アルコール除菌に加えて、銀のパワーによって高い除菌性能が長時間続くため、皆様の身の回りのお掃除にご使用いただくことで、カビ･菌･ウイルス等の繁殖を抑えます。

この商品以外にも、同「HydroAg+」技術を用いた抗菌フイルムの増産も進め、皆さまの身の回りの生活、産業面における感染予防や拡大防止に貢献できる商品を提供し続けられるよう努めて参ります。

環境保全活動

1)廃棄物削減と 3R※推進 ※3R:リデュース･リユース･リサイクル

生産安定化や徹底した分別回収により有価物化を推進し、継続して廃棄物発生量の削減に取り組んでいます。有価物比率は、近年海外の輸入規制により低下していましたが、2019 年度は有価化に取り組み、68%に向上しました。

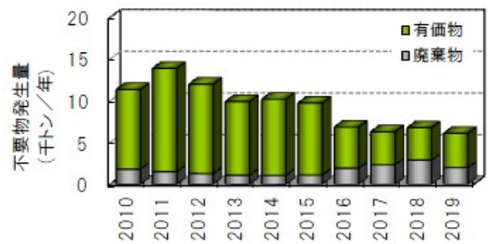

図 1 有価物と廃棄物の推移

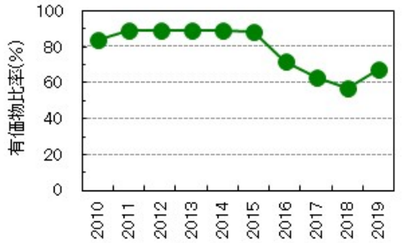

図 2 有価物の割合の推移

2)水質汚濁防止

河川放流水の水質は富士宮市との公害防止協定範囲内であることを維持しています。

分析項目	単位	法令 規制値	静岡県 条例値	公害防止 協定値	工場 管理値	実績 〔2018 年〕	実績 〔2019 年〕
pH(水素イオン濃度)	-	5.8～8.6	5.8～8.6	6.4～8.3	6.4～8.3	6.2～7.9	6.9～8.0
BOD(生物化学的酸素要求量)	mg/l	最大 160 平均 120	30 20	9 6	9 6	4.7 0.3	3.8 0.8
COD(化学的酸素要求量)	mg/l	-	最大 30 平均 20	16 8	13 8	6.1 1.3	6.3 2.2
浮遊物質量(SS)	mg/l	最大 200 平均 150	40 20	20 12	5 3	0.7 0.3	1.4 0.6
フェノール類	mg/l	5	-	-	5	<0.5	<0.5
大腸菌群数	個/ml	3,000	-	-	3,000	2	2

また、敷地内の地下水でもすべての物質が環境基準値内を維持しています。

3)大気汚染防止

各設備共にばいじんと窒素酸化物の濃度は、法規制値と協定値未満でした。また、硫黄酸化物の総量規制値も法規制値と協定値未満でした。

法令規制	設備	ばいじん(単位 g/Nm^3)			硫黄酸化物(単位 Nm^3/h)			窒素酸化物(単位 Nm^3/h)		
		法規制値	協定値	実績値	法規制値	協定値	実績値	法規制値	協定値	実績値
濃度規制	3号発電ボイラー	0.15	0.01	未検出	—	—	—	150	130	105
	5号ガスタービン+4号廃熱ボイラー	0.15	0.10	未検出	—	—	—	150	100	67
	7～9号ガスエンジン(発電機)	0.05	0.04	未検出	—	—	—	600	200	110
	10～12号ボイラー	0.10	0.05	未検出	—	—	—	150	55	13
	10～12号加熱器(ボイラー)	0.10	0.05	未検出	—	—	—	150	55	40
	J-1、2熱媒ヒーター(ボイラー)	0.30	0.10	未検出	—	—	—	180	130	88
	焼却炉4号機(ボイラー)	0.08	0.05	未検出	—	—	—	250	60	26
	2号発電ボイラー(予備設備)	0.15	0.02	—	—	—	—	210	150	—
総量規制	全設備合計	—	—	—	20.34	17.44	0.20	—	—	—

※ 協定値:富士宮市と締結した公害防止協定値
※ 濃度規制と総量規制の数値は最高値です。

4)化学物質の適正管理 ～PRTR 対象物質・自主管理対象物質の管理状況～

PRTR 法(化学物質排出把握管理促進法)に基づき、人の健康や生態系に影響を与えるおそれがあり、且つ環境中への排出量や移動量が年間1トン以上の化学物質について、行政へ報告しました。

自主管理対象物質も含めた総排出量(大気排出と水域排出)と総移動量(廃棄物)は一部製品の製品増加により、ともにやや増加しました。土壌への排出はありません。

それ以外の原材料や研究・検査・工程管理用の化学物質についても、労働安全・環境保全・製品安全及び廃棄物管理などの総合的観点からリスクを評価、管理基準を設定のうえ使用するシステムを構築して管理・運用しています。

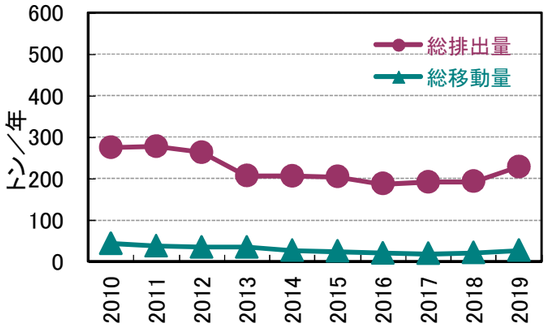

図 3 PRTR の推移

労働安全衛生

1)労働災害ゼロへの取り組み

『危険源の撲滅と安全感度の底上げで、ゼロ災を達成する！』のスローガンのもと、第三者による相互巡思(思いを巡らす)や深耕リスクアセスメント(深掘り型)の推進で労働災害ゼロに取り組みました。

交通安全立哨

2)交通加害事故ゼロへの取り組み

通勤途上の加害事故ゼロを目指し、富士宮警察署合同による事業場周辺の交通安全立哨、ドラレコ動画の配信による交通KY、等の交通事故防止の施策を実施しました。

3)防災対策の推進

地震対策として、事業場を取り囲む一部のブロック塀をパネル型フェンスに変更し、通行人の安全を向上させました。

危険体感教室

4)安全教育・講習会・講演会の実施

安全講演会(参加者約 140 名)、危険体感教育では新たに 4 種類のコンテンツを追加、延べ 806 名が受講。その他KYT、工具取り扱い教育等により、安全感度や技能レベルの向上を図りました。

5)心身の健康増進への取り組み

「禁煙」「生活習慣良化」「がん検診受診率向上」「メンタルヘルス」を柱として、従業員の健康増進への取り組みを展開しています。禁煙サポートプログラム展開や長時間労働がもたらす健康障害の防止、カウンセリングや看護師面談による健康増進の支援、その他定期的な健康情報発信による啓発活動を実施しました。

6)ワーク・スタイル・イノベーション(WSI)活動による働き方の変革

社内広報による啓発活動、有給休暇年間取得目標日数の設定、週 2 回の定時退社日放送等を通じて一人ひとりの意識改革を進め、併せて職場毎の業務効率化活動を進めて働き方の変革を推進しました。

社会とのコミュニケーション

1)事業場周辺の清掃

(2019 年 6 月 5 日、参加者約 500 名)

事業場周辺道路や潤井川周辺などの清掃活動を行いました。
その他、6 月の環境月間に、環境保全意識の高揚のため構内放送による PR を行い、環境異常発生時の対応訓練、環境関係機器の点検、廃棄物置場の点検と清掃などを実施しました。

事業場周辺の清掃

2)夏祭り(2019 年 7 月 26 日、参加者約 2,500 名)

フイルムパークグランドで、従業員とその家族のほか、近隣住民の方々にも参加いただき、バンド演奏、模擬店や花火などで盛り上がりました。

夏祭り

3)大中里地区環境対話集会(2020 年 3 月 7 日予定でしたが中止)

新型コロナウィルス感染症の拡大防止のために、今年度は中止にしました。

4)環境フェア(2019 年 10 月 19、20 日)

富士宮市環境フェアに参加して、工場で使用した水の浄化処理や製品のリサイクルについて現物を使った展示を行い、環境保全の活動を紹介した。

5)事業場見学受入(通年、来訪者約 200 名)

企業や学校など、2019 年度も大勢の方々が来訪され、環境保全活動の説明、環境・エネルギー関連施設の案内などを行いました。但し、2020 年 2 月以降は新型コロナウィルス感染症の拡大防止の為、受入見送り中。

このレポートに関するご意見・お問い合わせは下記までお願いいたします。
富士フイルム株式会社 材料生産本部 事業場運営グループ 富士宮事業場 環境グループ
TEL:(0544)26-7175 FAX:(0544)26-7176